「どうなん？」で新しい行田へ

事業名 06

老朽空き家等解体補助事業


空き家イメージ図

この事業に一言！

5年間で約3倍に

空き家の『どうしよう』解体補助で解決！



養田 英雄 議員の視点

令和3年度の補助実績は7件、令和7年度には19件で、5年間で約3倍に増加しています。令和8年度も申請が相次ぎ、補正予算を組んでいる状況で市民ニーズの高い事業です。

一方で現在の補助上限額は、1件あたり30万円です。県内の他自治体を見ると、上限50万円とする事例も複数の自治体で見られます。

危険な状態にある老朽空き家のさらなる解体促進へ、市民ニーズを踏まえながら、予算枠や補助上限額など制度拡充の検討が必要です。

事業名 07

体育施設管理運営事業


総合体育館メインアリーナ

この事業に一言！

今後にも期待

皆さまの希望が結実、市民スポーツの新たな幕開けへ



小野寺 貴男 議員の視点

待望の総合体育館のメイン及びサブアリーナ空調設備の設置が実現し、庭球場の照明ＬＥＤ化、弓道場や野球場の改修などが進められ、より一層市民が快適で安全にスポーツを楽しめる環境が整いました。

学校体育館へのスマートロック導入も、運動の場の利便性向上につながります。

今後も子どもから高齢者まで、誰もが気軽に体を動かし、健康づくりや交流を深められるまちの実現に期待感が持てると思います。